



タンザニア

BOP層家庭訪問調査レポート

- 調査実施日 2014年1月
- 調査場所: コースト州バガモヨ
- 調査対象: ルーカス(仮名)さん一家
- 換算レート: \$1=Tsh1,610(2014年1月6日)



ルーカスさんの一家



ルーカスさん (52歳)

職業: 伝統楽器製作兼音楽家
月収: Tsh550,000

休暇の過ごし方は?
楽器制作や練習や作曲

趣味は?
ラジオを聴く

買い物場所は?
電化製品などはダルエス
サラームのカリアコー

今欲しいものは?
1.家を建てる土地
2.妻や子どもたちの服

右: 第一夫人 (42歳), 左: 第二夫人 (46歳)

休暇の過ごし方は?
宗教の集まりへ行く

買い物場所は?
食料品は近所の市場
や自分たちの畑から

今欲しいものは?
・新しい家
・新しいバイク
・子どもたちの教育費

趣味は?
近所の女性たち
とおしゃべり

家族構成

夫:ルーカスさん(52歳)、
第一夫人:(46歳)、
次女:(23歳:中学4年を卒業したばかり、現在バティック染めの修行中)、
三女:(21歳:中学4年を卒業したばかり、幼稚園教諭を目指している)、
四女:(16歳:中学2年)、
長男:(13歳:小学6年)、
次男:(6歳:小学2年)(長女は結婚して同居してない)
第二夫人:(42歳)、
長男:(19歳:バガモヨ音楽学校在籍中)、
長女:(15歳:中学2年)、
次女:(14歳:中学1年)、
三女:(10歳:小学3年)、
次男:(10歳:小学2年)
他界した親戚の子ども:(男、17歳:中学1年)、
(女、16歳:中学2年)、(男、3歳)も同居。
全部で16人家族。
※クリスチャンなのだが、伝統的習慣ののっ
とって一夫多妻の家族となっている。
※学年は入学年齢の違いや落第などもあり、
年齢と学年は必ずしも一致していない。

世帯収入

月約57万シリング
夫:Tsh550,000(牛乳の売り上げと伝統楽器の演奏、ウシ、ヤギの売り上げの収入あり)
妻たち:Tsh20,000(畑の野菜や果物販売)

職業

夫:元精肉業者。
伝統楽器制作兼音楽家
妻:主婦、畑仕事

勤務地

夫:ミコチェニ地区の個人宅
妻:近くのキオスク

勤務日数

週5日 月～金

出身地

夫:ドドマ州ブギリ村
妻:ドドマ州ソンガンベレ村

職業紹介

夫:2012年4月までの11年間、精肉業を営んでいてかなりの収入があったが、肉の売れ残りが増えてきて、思うように売れなくなったので、精肉業をやめた。マサヤという家から7kmほどの地区の自分の土地に牧場があり、精肉業を営んでいるときにはウシとヤギがそれぞれ100頭近くいた。現在も牧場は残っているが、ウシは44頭、ヤギは53頭しかいない。乳牛から出るミルクが毎日20リットルほどあるので、1リットル1,000シリングで売っていて、それが現在の唯一の定期収入である。しかし牧場の作業員を今も3人雇っていて、1人につき月7万シリングの賃金を払っているため、それを差し引いた39万シリングが家計への収入となる。それでは足りないので、ウシやヤギの販売から補填している。ウシは1頭約40万シリング、ヤギは6、7万シリングくらいで売れる。

精肉業者時代にその儲けで買った土地があり、いずれはそれも売りたいと考えている。または、学校や賃貸しの家などを建てて有効利用することもできないだろうかと考えている。

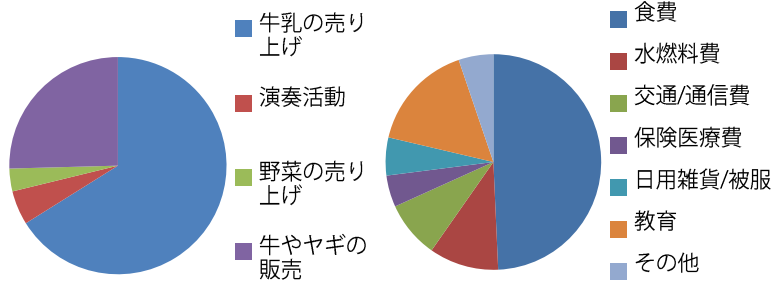
出身の村では、父親や親せきが農業と牧畜の傍ら伝統音楽もたしなんでいた者が多かったため、ルーカスさんも自ら自分の出身民族のゴゴの伝統楽器を作り、弾くことができる。精肉業が忙しくなる前には、演奏活動もしていた。今現在は音楽での収入はないが、息子にも学校で音楽の基礎を学ばせつつ、家では伝統楽器を教えている。すこしずつホテルなどの演奏活動も始めていて、その収入が月2、3万シリング。

妻:ふたりとも、ほぼ毎朝徒歩30分のサンザーレという地区にある畑に通っている。畑は2エーカーほどあり、自家消費用のキャッサバやトウモロコシ、豆類などを作っている。マンゴーの木もある。

訪問した日には家の前でマンゴーを売っていた。豊作の時には家の前で収穫物を販売するのだという。月、2万シリングほどの収入になることもある。大きいマンゴーがひとつ600シリング。手のひらサイズの小さいマンゴーが一山(4つ)で300シリングだったが、筆者のいる間にお客は来なかった。

収支内訳

- ・1か月の収入570,000シリング (牛乳の売り上げ:390,000+演奏活動:30,000+野菜の売り上げ:20,000+ウシやヤギの販売から:150,000)
- ・支出内訳(食費52%、水燃料費11%、交通/通信費9%、保健医療費5%、日用雑貨/被服6%、教育費17%)



住居



家の外観



家の裏手



裏のベランダ。右手が鶏小屋。太鼓が積み重ねてある。

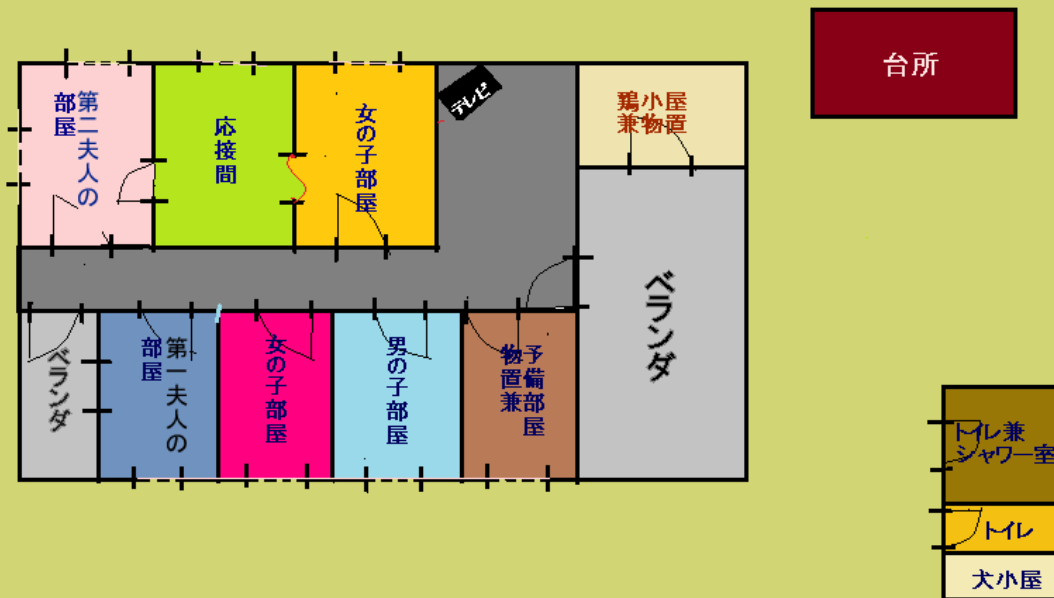


鶏小屋の中

JETRO

| | |
|-------|--|
| 住居 | 住居は持ち家である。3年間かけて建築し、1999年に完成して移り住んだ。約800平方メートルの土地である。建築費用は約2千5百万シリングほどかかった。全部で8部屋ある。それぞれの妻の寝室がひとつずつ。夫は日によってどちらかの寝室で休む。他の部屋は、子供部屋やストアや、テレビルームなどに使われている。服などの持ち物も多いが、部屋は比較的すっきりと片付いていた。ドマの村では、同じ敷地内ではあれど、それぞれの妻がそれぞれの家を持つのが普通なので、妻たちは、いずれは、もう一軒家を建て、それぞれの妻の家をすることを望んでいる。自家消費用に鶏を10羽ほど買っている。昼間は放し飼いにして自分で餌を探しに行かせ、夜は小屋の中に入れる。犬も1匹飼っていて、こちらは昼間は小屋の中に入れておいて、夜は番犬として外に出す。 |
| 電力の有無 | 電気は来ていて月に約2万シリングの電気料金を支払っている。 |
| 水道の有無 | 水道は引いてないので、近所から水道水を買ってきて使っている。20リットルで100シリング。1日約300リットルは必要なので、月の水代は約45,000シリングほどである。 |
| 燃料 | 燃料は、妻が畑から薪を運んで来て使っている。庭に台所用の囲いと屋根があり、そこには石を三つ並べて作ったコンロが二つある。第一夫人用と第二夫人用で、いつも食事は自分たちの子ども用に別々に作って別々に食べている。 |
| トイレ | 離れにトイレ兼シャワー室のある小屋がある。同じ小屋にトイレがもう一つ作ってある。汲取り式である。(シャワー室はひとつ、トイレはふたつある) |
| 電化製品 | 電化製品はソニーのテレビとデジタル放送対応用のデコーダーとスタビライザーのみである。仕事用の大型冷凍庫も3台もあったが、壊れたまま物入れと化している。 |
| 携帯電話 | 携帯電話はルーカスさん、第一夫人、第二夫人、息子が持っている。しかし、第一夫人の中国製の携帯は昨日壊れてしまい、近所の電話修理店にこれから持っていくということだ。 |
| 車・バイク | 2008年に購入した中国製のバイクがある。ルーカスさんが牧場に行くときなどに使っているが、古くなってきたので、お金があれば新しいのを買いたいところだ。 |

ルーカス家の間取り図





テレビ室。テレビの下のステレオや手前の冷蔵庫は故障している。



男の子部屋の壁。服が掛けてある。



男の子部屋。ベッドが二つ。



女の子部屋。部屋の隅の靴は衣装ケースになっている。



その隣の女の子部屋。



第一夫人の部屋



予備部屋兼物置



← 灯油ランプは停電の時に役に立つ。中国製



もう一つの女の子部屋。



第二夫人の部屋



応接間の食器棚。



天井は剥きだし。壁には伝統楽器が。



応接間のソファとテーブル。



廊下



トイレとシャワーの小屋



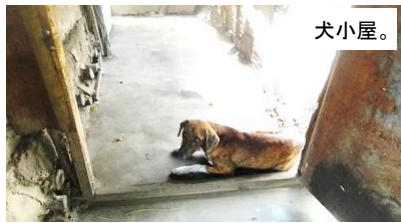
シャワー室とトイレ



その隣のトイレ



家の前で売られていたマンゴー。



犬小屋。



庭。右手がトイレ兼シャワー小屋。奥が台所。左は壊れた農業機械。

JETRO



テレビ。SONY。2000年。Tsh100,000。
知人から譲ってもらった。



バイク。SANLG、2008年、
Tsh1,500,000、新品。



左)ルーカスさんの携帯、SAMSUNG、2011、Tsh160,000、新品。
中)第二夫人の携帯、SAMSUNG、20132013、Tsh60,000、新品。
右)息子の携帯、IteL、5年以上前、Tsh60,000、新品。



食事

牧場や畑に行くときには、朝食をとらずに、まだ涼しい朝の5時半過ぎに出かけて、10時ころ、戻ってきてから朝食をとる。砂糖入りの紅茶とキャッサバの煮物を食べたり、揚げパンのマンダジを近所から買ってくることもある。学校へ行く子どもたちの朝食は、家に残る大きい子ども(女子)が面倒をみる。母たちがいそがしいときには、大きな子どもたちが食事の用意もできるので、助かっている。

燃料のための薪集めや薪割りも女性たちの仕事である。

昼食も夕食もウガリとマハラゲ(豆の煮込み)のメニューが多い。マハラゲは1kg2,000シリングで家族全員で食べると1日で使いきる。肉を食べるのは週2回ほどである。精肉業をやっているときには毎日のように肉を食べていたそうだが。米も食べるが、ウガリよりも値が張るので、食べる機会が少ない。(ウガリが1kg1,000シリングに対し米は1,500シリングほど)。ウガリはひと月80kgほど必要になる。外食はしない。

本日のメニューはちょっとごちそうで、ウガリ、牛肉とオクラのムチュージ(トマトソースの煮込み)とムレンダ(ねばねばするおかず。今回はオクラを使用)である。ムレンダは彼らの故郷のドドマではよく食べられているおかずだ。

ゴザの上でお盆に入れたウガリとおかずを4、5人で囲み、右手でウガリを取って丸め、そのウガリにおかずを付けていただく。



ゴザの上で昼食をとる。



薪割りをする第二夫人。



廊下に置いてあった鍋と食器。



ウガリとムチュージ、ムレンダ



台所。手前が第二夫人のコンロ、奥が第一夫人のコンロ。手前が娘。後ろは訪ねてきた親戚の女の子。



時間

| 時間 | 夫 | | 第一夫人 | |
|--------|-----------------------|-------------------------|----------------|----------------|
| | 平日 | 日曜 | 平日 | 金曜 |
| 5時 | 起床 | | 起床 | |
| 5時30分 | バイクで牧場へ | | 第二夫人とともに畑へ(徒歩) | |
| 5時15分 | 牧場着 | | 畑仕事 | |
| 7時 | ウシやヤギの世話。 | 起床、身支度 | | 起床、身支度 |
| 8時 | 洗ったり掃除をしたり乳搾りなど。家へ向かう | 教会へ(徒歩20分)ミサ | | 教会へ(徒歩20分)ミサ |
| 10時 | 帰宅 | | 帰宅 | |
| 10時15分 | 朝食 | | 朝食 | |
| 10時30分 | 休憩 | 帰宅 | 水汲み、食器洗い、薪割りなど | 帰宅 |
| 11時 | 楽器の手入れなど | 朝食 | 昼食の用意 | 朝食 |
| 11時30分 | | 休憩 | | 水汲み、食器洗い、薪割りなど |
| 12時 | | | | 昼食の用意 |
| 14時 | 昼食 | 昼食 | 昼食 | 昼食 |
| 15時 | 伝統楽器の練習 | 音楽仲間の家に行き、教えたり作曲したりなどする | 洗濯、掃除、買い物などの家事 | 洗濯、掃除、買い物などの家事 |
| 17時 | | | 夕食の用意 | 夕食の用意 |
| 19時 | 夕食 | 夕食 | 夕食 | 夕食 |
| 20時 | TVニュースを見る | TVニュースを見る | TVニュースを見る | TVニュースを見る |
| 21時 | 子どもたちに学校のことなどを聞く。 | 子どもたちに明日の学校の準備などの確認。 | 小さい子どもの世話など | 小さい子どもの世話など |
| 22時 | 就寝 | 就寝 | 就寝 | 就寝 |

※第二夫人もほぼ第一夫人と似た行動。

子供たち

ルーカスさんの一家は大家族だが、タンザニアの特に農村部では珍しいことではない。親戚の子どもを引き取って育てているのは、よくあることである。

タンザニアは今も義務教育は小学校までなのだが、政府の方針もあり、中学進学率は増えている。ルーカスさんの時代には、小学校教育のみという学歴が圧倒的に多くかった。しかし現在、ルーカスさんの家の子どもたちで、中学に進学していない子どもはいない。ルーカスさん自身が夕食の後に子どもたちに学校での様子を尋ねたり、学校で使ったノートを見たりと、子どもたちとの直接対話を通して生活や学習状況を知ろうとしているようだ。

中学校4年生を終えるときに国家試験があり、レベルに達した者は公立高校に入学資格が得られるが、受験者数の10%にも満たない狭き門となっている。近頃は中学4年生を終えただけでは、なかなか職を得るのが難しい状況になってきている。

ルーカスさんの息子は現在音楽の専門学校へ通っているが、中学を終えた娘二人はまだ定職のない状況である。

JETRO

【免責事項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。